

通販サイト向け 写真撮影お任せ

アポロクリエイトが地方展開

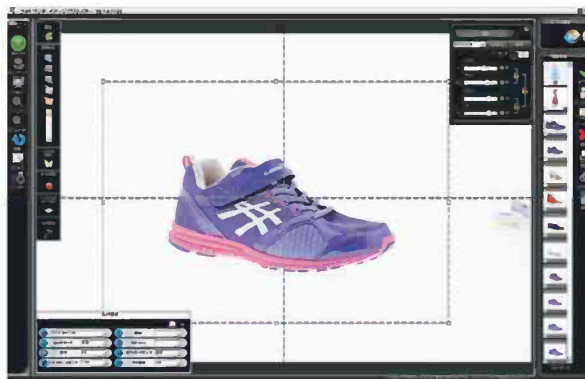
インターネット通販の普及で、通販サイトに載せる商品写真の魅力が重要になってきた。それに伴い需要が急増しているのが撮影や加工を自動化する機器だ。アポロクリエイトホールディングス（東京・港）はボックス内に商品を置くだけでカメラマンが撮ったような写真ができるシステムの地方展開を始めた。地方の商品の全国販売や越境EC（電子商取引）を後押しする。

撮影ボックスに商品を入れ、
通販サイト用の写真を撮れる



カメラマン並み画像自動で

全国販売・越境EC後押し



フォトオートメイションのソフトで画像を加工できる

アポロクリエイトが撮影モードなどをパソコン上で操作できるソフトが「フォトオートメイション」。米メーカーが製造し、日本ではアポロクリエイトが代理店として販売している。照明や回転台などをついた撮影ボックスと、

撮影ボックスとそれぞれをつなぐ。商品をボックス内に入れ、パソコンで光の明るさや彩度などを調整。パソコンで撮影ボタンを押すと、カメラと連携して写真が撮れる。

通販サイトでは、背景を消した商品だけの画像をサイトに掲載するため求められることが多い。時間を短縮し、カメラ

の全方向の写真を撮れるシステムもある。価格は主力機種が250万円前後だ。月5万円程度でリース契約もできる。一定水準の質の画像をサイトに掲載するため時間を短縮し、カメラ

に販売拠点を設けたのに続き、2018年には名古屋に進出する。さらに札幌や仙台にも開設

する予定だ。例えば名古屋では中古ブランド品販売などの利を見込む。各地では独りも増えている。スマートフォンで購入する消費者も増えており、スマホ画面への配慮も必要だ。また越境ECでは、海外の消費者にとっては、商品の画像の魅力が売れ行きに影響する必要がある。既に食品や化粧品などの越境ECでシステムを用いた画像が使われ始めているという。